



503号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



第5 中央港湾団交、進展なし

全国港湾、日港協に対し執念をもって前進回答迫る！

第5回中央港湾団交経過

日本港運協会と全国港湾および港運同盟は3月30日(水)13時30分から東京・新橋に位置する港運会館において16春闘制度要求をめぐる第5回目の中央港湾団交を開催し、日港協に対して修正回答を求めたが、前回団交から全く変わらない回答であったため不満を表明した。

72時間ストライキの「重み」を言及

組合側は途中休憩を挟みながら「上乗せ行動」に向けた内部検討に入った。休憩後、日港協にさらなる修正回答を求めるため、すでに通告している平日を絡ませた4月9日からの72時間ストライキの重みを踏まえ、上乗せ行動は行わず、次回交渉で大幅な修正回答を求めた。

日港協 スト回避に向けて再検討を強調

日港協は「要求全般にわたり困難をともなう課題もある。現時点において回答できる課題に対しては、すでに回答している。しかし、最終的なものではない」とし、4月9日(土)始業時から12日(火)始業時までの72時間ストの回避に向けて再検討する旨を主張し、次回交渉を4月5日(水)13時30分から開催することを提案してきた。組合側は、これを了承して団交を打ち切った。

◎ 組合の意見と主張 (要旨) ◎

- ① 72時間ストは、目的ではなく解決させるためのものである。本日の回答では、ストを打てと言っているようなものである。
- ② 届出料金の10%を下回っている。その10%の料金を収受すれば、回答できるはずだ。
- ③ 定年延長要求は、年金支給までの間に空白期間を作りたくないことから要求している。
- ④ 港労法も労使が一致してはじめて法改正に持っていける。無理な要求はしていない。
- ⑤ 適正料金の下払いの協定履行を求めている。中央協定を具体的に担保するために元請と各種事業者の念書を要求している。
- ⑥ 安倍総理も同一賃金・同一労働と言っている。適正な下払いを行うべきだ。
- ⑦ 本日までの回答は、第2回港湾団交時の回答から基本的に変わっていない。日港協として、リーダーシップをとらないと状況は絶対によくならない。

◎◎◎ 春闘要求に対する日港協回答 (要旨) ◎◎◎

1. 雇用基盤と港湾労働の安定について
適正料金を収受し、適正な支払いを行うことにより、傘下各組合の賃上げ・労働条件向上の要求に誠意をもって答えること。
[回答] 日港協として元請事業者に対し、これまで以上に届け出料金の完全収受に努めるよう引き続き指導すると共に各種専業事業者への支払いに対しても配慮するよう指導したい。
2. 三島川之江港の指定港化について
[回答] 港湾をとりまく環境から困難な課題ではあるが、これまでの協定の経過を踏まえ、日港協として改めて関係行政に働きかけることとしたい。
3. 港労法の全港・全職種適用問題について
[回答] 港労法の全港・全職種適用問題について3月31日の委員会で検討することとなっている。
4. 「重量証明」を港頭地域で行えるよう、遊休施設・土地の活用などによる港湾設備の拡充、台費場の設置を広く政策提言し、その実現を図ること。
[回答] 重量証明問題に係る港湾設備の拡充等については、提言に向けて検討したいと考えている。
5. 賃金・労働条件の向上/産別協定の改定について
[回答] 事業者団体として危惧される課題が払拭されていないため、賃金・労働時間問題専門委員会で研究していきたいと考える。
6. 65歳定年制について
[回答] 当面は各企業の裁定に委ねながら日港協としては2025年の実施に向けた段階的な準備を指導することとしたい。
7. 熱中症対策について
[回答] 中央安全専門委員会を4月27日に開催し検討する。
8. 地区団交権の確立について
[回答] 3地区労使懇談会(北海道・東北・日本海地区)を3月31日に開催し、協議する。
9. 港湾年金改正について
[回答] 現在、ワーキンググループにて鋭意検討中であり、これを促進させ、出来るだけ早い時期に労使のコンセンサスを得たい。



中央港湾団交で追求する交渉団

～ 今後日程 ～

- 3月31日(木) 港湾労働法問題検討委員会(新橋・港運会館)
- 4月05日(火) 第3回全国港湾中央闘争委員会(蒲田・日港福会館)
- 4月05日(火) 第6回中央港湾団交(新橋・港運会館)
- 4月07日(木) 国民春闘共闘常任幹事会(お茶ノ水・全労連会館)
- 4月09日(土) 交通運輸政策研究会総会(浅草セントラルホテル)
- 4月14日(木) いのちと健康を守る全国センター 単産安全担当者会議
- 4月15日(金) 国民春闘共闘中央行動(厚労省前→国会請願デモ)

～ 今後対応について ～

次回4月5日(火)13時30分から第6回中央港湾団交が開催されます。もし、港湾団交が不調に終わった場合、72時間スト(4月9日～11日)に突入していきます。
各地域労連(支部)闘争委員会は中央港湾団交の行方には充分注目するとともに都度情報は流していきます。なお、検数労連は港湾団交終了後、労連中央闘争委員会を開催していきます。